### stream

指定したストリームの受信データを出力（windowオプション）、または指定したストリームに入力データを転送します（forwardオプション）。このコマンドを実行するには管理者権限が必要です。

#### 構文

stream [forward=BOOL] [window=INT{y|mon|w|d|h|m|s}] STREAM, ...

必須パラメータ

**STREAM, ...**

カンマ（,）区切りで指定するストリームリスト。ストリーム名にはワイルドカード（\*）を使用でき、パターンに一致するすべてのストリームを一括指定できます。

オプションパラメータ

**forward=BOOL**

入力として受け取ったクエリデータを、STREAM, ...で指定したストリームに転送するかどうかを制御するオプション（デフォルト：f）。

1. t：パイプ（|）で入力として受け取ったデータを、STREAM, ...で指定したストリームに転送します。明示的にストリーム転送機能を有効化する場合のみ使用します。このオプションはwindowと同時に使用できません。
2. f：STREAM, ...で指定したストリームからデータを受信します。

**window=INT{y|mon|w|d|h|m|s}**

クエリ実行時点から出力を行う期間を指定します。y（年）、mon（月）、w（週）、d（日）、h（時）、m（分）、s（秒）単位で指定可能です。単位がyの場合は1yのみ許可されます。例えば、10sはクエリ実行時点から「今後10秒間」を意味します。このオプションはforwardと同時に使用できません。

#### 使用例

sample1、sample2ストリームから10秒間データをリアルタイムで受信

stream window=10s sample1, sample2

testテーブルから100件のレコードをsample1、sample2ストリームの入力として転送

table limit=100 test | stream forward=t sample1, sample2